

平成26年3月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.23Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	4,938	8,437	4,258	4,179	23	41
2 千 石	3,393	6,701	3,377	3,324	△ 3	11
3 内 山	4,817	7,057	3,800	3,257	△ 6	△ 14
4 大 和	3,186	6,612	3,320	3,292	△ 9	△ 13
5 上 野	7,203	15,528	7,608	7,920	△ 24	△ 21
6 高 見	6,569	12,816	6,150	6,666	128	207
7 春 岡	6,349	10,464	5,571	4,893	10	9
8 田 代	11,146	21,345	10,205	11,140	△ 1	△ 4
9 東 山	9,640	18,867	9,209	9,658	△ 19	△ 40
10 見 付	4,264	8,293	4,140	4,153	△ 33	△ 33
11 星ヶ丘	3,328	6,580	2,943	3,637	△ 8	△ 8
12 自由ヶ丘	3,479	7,685	3,520	4,165	△ 6	△ 14
13 富士見台	6,312	15,549	7,192	8,357	△ 13	△ 37
14 宮 根	3,699	8,427	3,987	4,440	9	21
15 千代田橋	3,595	8,731	4,074	4,657	0	△ 8
千 種 区 計	81,918	163,092	79,354	83,738	48	97
H25.3.1	81,035	161,771	78,710	83,061	△ 75	△ 134
対 前 年 比	883	1,321	644	677	123	231
名 古 屋 市	1,035,536	2,271,142	1,118,630	1,152,512	140	△ 603
愛 知 県 (H26.2.1)	2,998,955	7,434,557	3,713,115	3,721,442	657	△ 690

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	96	113	△ 17	974	860	114

【参考】

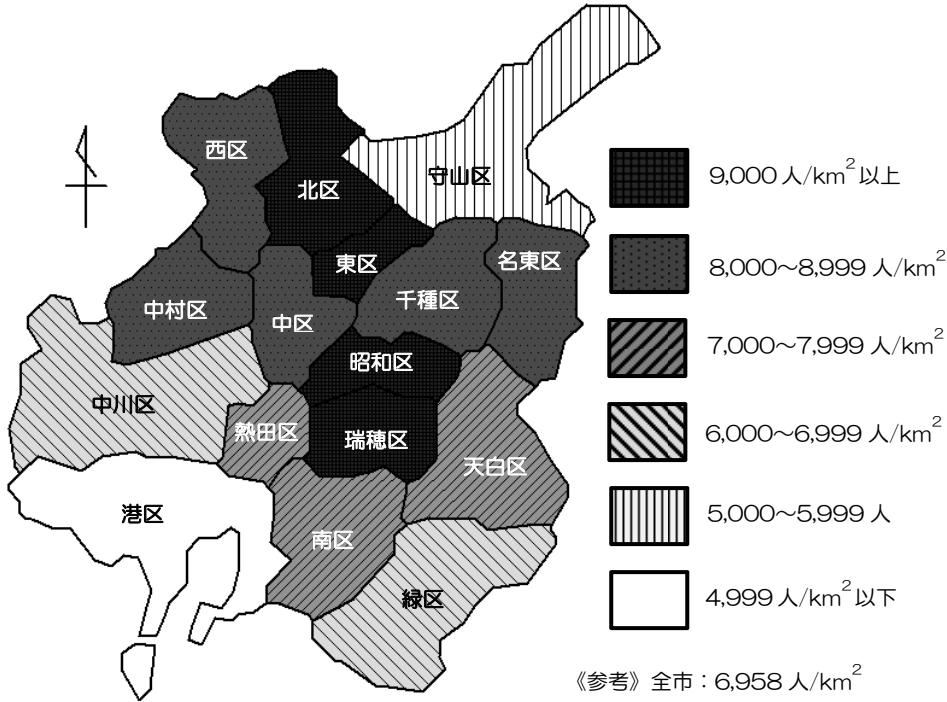
国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和50年	168,861	平成 7年	148,847	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537		
昭和60年	163,762	平成17年	153,132	これまでの最少人口	
平成 2年	156,478	平成22年	160,015	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成22年国勢調査結果を基礎として、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものです。(平成24年7月中の集計までは、毎月の外国人登録の異動数も加減して推計しています)

千種区の人口密度の概況

平成 26 年 3 月 1 日現在の千種区の世帯数は 81,918 世帯となっており、人口は 163,092 人となっています。今回は平成 25 年 10 月 1 日現在の千種区の人口密度を他区と比較しながらみていきます。

図 1: 区別人口密度 (平成 25 年 10 月 1 日現在)

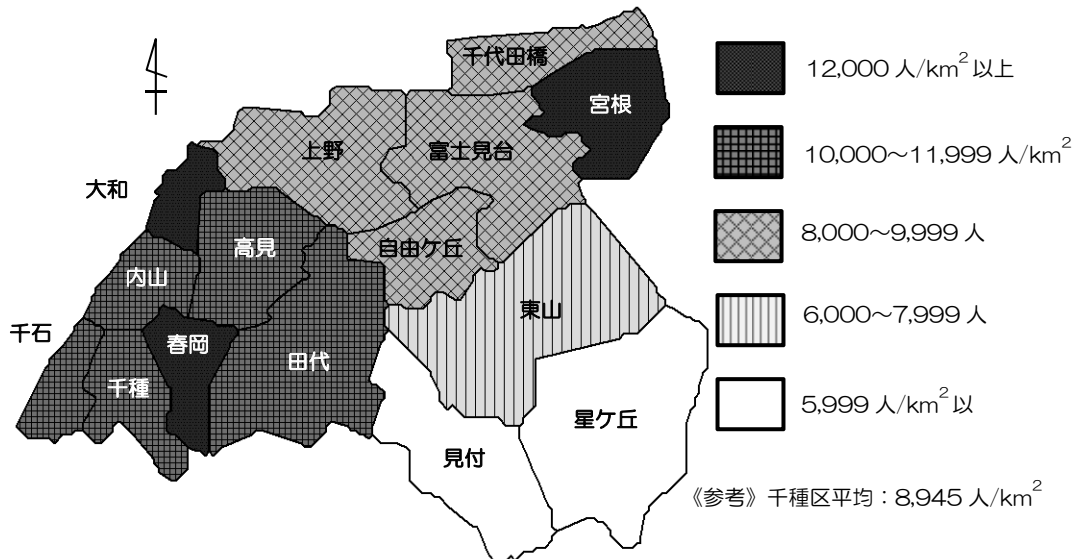


平成 25 年 10 月 1 日現在の区別人口密度をしてみると (図 1)、東区が 9,718 人/km² と最も多く、昭和区 9,596 人/km²、瑞穂区 9,351 人/km² と続き、千種区は 8,945 人/km² で 5 番目でした。

人口密度が低いほうから見てみると、港区が 3,187 人/km² で最も低く、守山区 5,030 人/km²、緑区 6,227 人/km² と続きます。全体的に見てみると、名古屋市の中心部は人口密度が高く、郊外は低い傾向が見られます。

続いて、千種区の人口密度を見ていきます。

図 2: 千種区の学区別人口密度 (平成 25 年 10 月 1 日現在)



平成 25 年 10 月 1 日現在の千種区の学区別人口密度を大きい順に春岡 (14,166 人/km²)、大和 (13,882 人/km²)、宮根 (12,034 人/km²)、高見 (11,746 人/km²)、内山 (11,588 人/km²) の順となっています。